



諏訪原城二の曲輪南馬出

諏訪原城二の丸中馬出

山中城 西ノ丸南下の畝堀

山中城 西ノ丸と西櫓間の堀障子

静岡に築かれた 後北条・武田の城



講師 加藤理文氏
まきふみ
(公益財団法人日本城郭協会理事)

平成 29 年

9 月 3 日 (日)

午後 2 時 ~ 午後 3 時 30 分 (開場 午後 1 時 30 分)

参加
無料

戦国期、静岡県内には北から武田氏が、東から北条氏が侵攻し、橋頭保となる城や地域支配のための城を築き上げた。武田氏は横堀と丸馬出を多用する城を築き上げ、北条氏は堀障子と呼ばれる独特な堀を用いた城を構築している。

こうした特徴ある防御施設が、どのように用いられ、またどのような効果をねらったものであるかを解説すると共に、武田・北条の築城術が、県内にどのような影響をもたらしたかを検証する。

会場	静岡県立中央図書館 2 階 講堂 (静岡市駿河区谷田 53-1)		
対象	どなたでも	定員	200 人 (要事前申込・先着順)
申込	① 電話 054-262-1246 ② FAX 054-264-4268 ③ メール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp ※FAX とメールには、講座名、氏名、電話番号を記入してください。		
主催 静岡県教育委員会 / 後援 静岡県図書館協会			

※県立中央図書館本館は、安全対策のため現在休館中ですが、このイベントは予定どおり開催します。 ※来館の際は公共交通機関をご利用ください。